

議会だより



日野小学校6年生「まちの幸福論」プレゼンテーションに参加し、メモを取りながら真剣に話を聞く日野町議会議員

12月議会
(12月1日～23日)と
11月27日に開催された
臨時議会の結果を
お知らせします。



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター
がもにゃん

INDEX

- 西大路小学校・日野小学校6年生がプレゼンテーション p.2～3
- 各団体のみなさんと日野町議会議員との意見交換会 p.4～5
- 決算特別委員会の報告 p.6
- 議案一覧 p.22～23

滋賀県日野町議会
令和2年12月定例会号
(令和3年2月15日発行)

特集



西大路小学校・日野小学校6年生のみんなが「町の未来を考える…町の幸福論」をプレゼンテーション

去る11月20日に西大路小学校において6年生の児童9名が、12月4日には日野小学校において6年生の児童83名が、「町の幸福論」について私たち議員にプレゼンテーションをしてくださいました。

この学習は国語科の教育として「私たちが住む町、日野町を将来どのようにしていきたいか」を、他の市町村での取り組みを調べたり、ガイドブックを作ったりして、友だち同士で話し合っまとめられたものです。発表内容は、日野町の良いところを更に伸ばしていくアイデアや、現状の課題を解決する提案など、驚くものばかりでした。また、パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料も分かりやすく、画像の取り込みも工夫されていて、今の6年生はここまでやるものだと感心させられました。

提案していただいた内容やアイデアを今後の町づくりに生かしていきたいと考えています。

西大路小学校校長先生からのメッセージ

6年生の視点での将来の在り方を展望し、課題と解決策を述べてくださいました。私の住む地域も難しい課題があり、若者なくして将来は展望できません。日野町の良さを皆さんの力で発掘・発信して、魅力ある町にしてくれることを期待しています、とメッセージをいただきました。

日野小学校校長先生からのメッセージ

“日野町の未来を描く” 今回の学習はゴールではありません。これから先、実際に学び、大人になって実現していくことであり、日野町のことを忘れないでほしい。今の学習、そして残された小学校生活を大切にしてください、と6年生のみんなにエールを送られました。

西大路小学校6年生の児童が描く未来の日野町



若者が来る新しい町、幅広い年齢がつながる町にしていきたい

- ◇少子高齢化、若者が少ない、空き家がある。
- ★空き家にアート作品を作って、スタンプラリーを行う。
- ★日野町の良い所を、スケッチ、俳句、詩を作りながら伝統的なものにふれる旅を行う。



ゴミの無いきれいな町で商業が栄える町を目指す

- ◇歩道にゴミが多く、商店数が減少している。
- ★ペットボトルの回収ボックスを設置し、おさんぽカードのポイントが貯まるようにする。
- ★ポイントが貯まったら、ゲームで日野の特産品がもらえる。



日野小学校6年生の児童が提案する日野町の未来 福祉・教育部門

高齢者も介護士も安心して暮らせる町にする

- ◇一人暮らしの高齢者の増加、介護スタッフの出入不足がある。
- ★交流会のポスターを作って来てもらう。
- ★一人暮らしの高齢者に声をかけ、ゴミ出しの手伝いをして、昼食会「お助けランチ」を開催する。
- ★介護士の負担を軽減させるために「介護ロボット」を導入する。



もっと学力を上げて勉強熱心な町にしたい

- ◇学力ランキングで滋賀県が最下位である。
- ★プリント、ドリルコーナーなどは、5つの小学校で簡単にできるから設置すべきである。
- ★世界と競った選手の夢授業や講演会を行う。

障がい者と私たちが一緒に暮らせる町を目指し、バリアフリー化によってどんな人でも平等に暮らしていきたい

- ◇町のバリアフリー化があまり進んでいない。
- ★わたむきホール虹で「内向型交流カフェ」を開催する。
- ★ノンステップバスを日野町に運行させる。



どんな人でも教育をしっかりと受けることのできる日野町にしたい

- ◇子どもの人口が少なくなっている。
- ★日本語の分からない生徒1人に1人翻訳者を派遣する。
- ★公民館に外国人と交流したりする場所を作る。

日野小学校6年生の児童が提案する未来の日野町 自然・歴史・伝統部門

自然を活用して、幅広い世代に愛される人気の高い町を目指す

- ◇美しい自然を活用できていない。
- ★田んぼ道を利用して、長い流しそうめんのイベントを行う。器もお箸も竹で作る。
- ★学林を利用して、ハンモックで森林浴を味わってもらう。

伝統でつながりを広げる日野町を目指す

- ◇日野町の良い所が伝えられていない。
- ★私たちが習った素敵な歴史で、私たちがガイドする歴史ツアーを開催する。
- ★日野町全小学校の育ててくれた日野菜をアレンジ料理してみんなで販売する。日野菜カレー、日野菜巻き寿司など。

日野町の歴史を広めて、観光客が多く訪れる町にする

- ◇日野町を訪れる人が少ない。
- ★今あるパンフレットに日野町の歴史のある日野わんや日野菜の歴史などを詳しく調べて載せる。
- ★日野町の歴史を紹介したり、日野町の名産を売る場所を設ける。



議会議員との意見交換会

各方面で活動される日野町内の団体の役員さん・職員さんたちから、その活動内容や現況、課題、要望などを直接お聞きし、まちづくりについて意見交換をさせていただきました。

ここでは、その中で中心となった話題を紹介いたします。

日野町社会福祉協議会の皆さんと厚生常任委員会との意見交換会 (11/27 於：日野町勤労福祉会館)

社会福祉協議会職員さん10名にご参加いただき皆さんの声をお聴きしました。

●介護職員が人手不足ではないか

- ・介護士を採用しているが、高齢化し平均年齢は50歳以上
- ・今年度は、退職、離職があり、6月末でデイサービスを休止
- ・介護職員の養成講座の初任者研修がされていない
- ・町では対応できない。圏域での支援が必要。要望する
- ・びわこ学院大学の学生が実習に来た。関係持続を願う

●新型コロナウイルス感染対策の、心のケアはどうされているのか

- ・必要な備品は3月まではある。県の補助がある
- ・クラスター感染予防対策のWeb研修をしている

●勤労福祉会館の指定管理者として、要望意見はないか

- ・老朽化のため館内で雨漏りがあり、照明も暗くLED化を要望している

■貴重な現場職員さんの声を承り、切実な声を福祉町政に反映するよう改善に努めてまいります。

厚生常任委員長 齋藤光弘



日野町社会福祉協議会のみなさんと
厚生常任委員

日野町議会では例年、町内各地区の公民館を巡回して「議会報告会」を開催してまいりましたが、議会からの報告という一方通行のようなスタイルを改め、昨年度は各地区の課題を、その地区の住民さんと共有しながら現状の把握、改善に向け、互いにアイデアを出し合うという意見交換会に変更させていただきました。その中でいただいた貴重なご意見は、議会の中でも取り上げ、役場ロビーにも貼り出させていたいただいておりますので、ご覧いただいた方も多いと思います。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止という観点から、不特定多数の方との意見交換は難しいと判断し、日野文化懇談会、日野町商工会、日野町社会福祉協議会の3つの団体と、日野町議会の3常任委員会による意見交換会という形を取らせていただきました。どの意見交換会も活発なご意見やご提案をいただき、予定していた時間では足りない状況でした。

今後、今回の意見交換会でいただいたご意見を真摯に受け止め、これからのまちづくりに大いに活かしていきたいと思っております。参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

各団体のみなさんと日野町

日野文化懇談会の皆さんと総務常任委員会との意見交換会 (10/30 於：日野町防災センター)

豊かな歴史・文化と自然を生かし、より良い日野を創るために「日野にふさわしいエコミュージアムを目指して」をテーマに意見交換会を行いました。

日野町には、寺社、個人宅にも多くの文化財が残っていますが、これら文化財の管理・修繕などを続けていくことが困難になってきています。保管場所確保の問題もありますし、文化財を守り、調査等していくには、若い世代の人材育成も重要な課題です。これらを踏まえたうえでの文化財基本構想が必要です。セミナーなどを通し、社会教育は広がってきたと思えるので、今後エコミュージアムを目指すうえで、まずは住民に地域の文化財を知っていただくことが大切だと思います。また日野町内の各団体との文化財ネットワークの構築も必要だと思われます。

今回いただいたこれらのご意見を今後の委員会や議会活動に活かして参ります。

総務常任委員長 中西佳子



挨拶に立つ中北慎治日野文化懇談会会長

日野町商工会の皆さんと産業建設常任委員会との意見交換会 (11/6 於：日野町林業センター)

●コロナ禍での経営状況など地元経営者の切実な声

商工会側は、正副会長以下9人がご参加くださいました。最も多く時間を割いた話題は、コロナ禍での経営悪化で資金繰りの窮状と、融資を受けても今後の業績回復に不安があることなどについてお話を伺いました。

●コロナ対応施策で事務局職員の仕事量が急増

新型コロナ対応施策で持続化給付金約400件の申請相談を受けるほか、商品券事業や飲食店応援事業の実施、金融相談では昨年比で20倍以上になるなど、職員の仕事量の過度な増加について現場の訴えを伺いました。

●青年部の取り組みなど新たなビジネスモデル

青年部からは、地域経済循環促進の取り組み「#私は日野」の紹介があり、ウィズコロナでの新たなビジネスモデルに転換する必要性と合わせて出席者全員で意見交換を行いました。

当日お伺いした要望等は、町議会への要望書として提出いただき、産業建設常任委員会では、12月議会委員会でも調査研究テーマとして取り上げて、町担当課を交えて協議致しました。

産業建設常任委員長 山田人志



日野町商工会のみなさんと産業建設常任委員

令和元年度一般会計および8つの特別会計決算の結果について審査を行うため、令和2年9月定例会において議長を除く全議員で決算特別委員会（委員長：奥平英雄議員、副委員長：後藤勇樹議員）を設置しました。委員会での審議は大変時間がかかるため、閉会中の継続審査とすることを決定し、10月7日、9日、19日の3日間にわたり開催しました。

委員会では、歳入・歳出等決算の内容に関する委員の質問に対して町執行側が答弁する要領で行われますが、ここでは質問だけでなく決算内容から見えてくる施策の課題や今後に向けた改善点などの意見も多く出されました。

また、本委員会の最終日にはすべての審査が終わった後に、決算の中で示された事業の成果を確認するため、委員は主な事業を選び現地視察を行いました。

一般会計の概要

歳入

96億3,901万円

内、町税収入は41億5,071万円

歳入総額は、対前年度比1.64%増となり1億5,532万円の増収。また、町税収入は41億5,071万円となり、歳入の42.5%を占め、前年度より2億180万円の増収となった。

歳出

91億4,389万円

歳出総額は、対前年度比1.97%の増となり、前年度より1億7,712万円の支出増となった。

歳入歳出差引額 4億9,511万円

質疑応答

問 実質収支額（歳入総額から歳出総額を差し引いたもので翌年度への繰越金となる）が、前年度よりも増え、財政に余裕があるように捉える。一方、経常的に必要な経費の割合も増えていて財政に余裕がないように捉えるが、どうなのか。

答 社会保障費等の支出が増加しており、経常的な経費の割合は高くなった。実質収支額が増えたのは、町税等の収入額が予算に反映されていないと監査委員からも指摘を受けたところであり、適正な予算執行に努めたい。

問 不用額（予算額と支出済額との差）が年々増加している、増加する原因は何か。

答 新型コロナウイルスの影響を受け、中止となった事業が多かったことなどによるものである。

特別会計の概要

会計区分	歳入	歳出	会計区分	歳入	歳出
国民健康保険	22億1,253万円	22億373万円	簡易水道	1,268万円	1,265万円
介護保険	21億9,911万円	20億8,276万円	後期高齢者医療	2億5,822万円	2億5,444万円
公共下水道	8億3,158万円	7億7,014万円	西山財産区	231万円	193万円
農業集落排水	1億8,844万円	1億8,364万円	水道事業	6億6,917万円	5億7,892万円

事業の現地視察の様子



▲日野小学校のトイレ改修▲



▲公共下水道雨水渠整備(日田)

**12月
補正予算**

一般会計他6会計を可決

補正総額

一般会計 (補正後の予算総額)	1億8,290万2,000円 119億 471万5,000円)
特別会計 (補正後の予算総額)	2,577万6,000円 49億5,546万4,000円)
企業会計 (補正後の予算総額)	693万9,000円 23億6,992万5,000円)

一般会計補正予算第7号(12月補正予算)では、人事院勧告等による人件費の補正と新型コロナウイルス感染症への追加的な対応に係る事業の他、必要性が高い事業について所要の予算措置が講じられました。議員が着目した歳出予算における主な事業は次のとおりです。

児童健全 育成事業

学童保育所へ交付する
コロナ対応補助金

857万円

子育て世帯 緊急支援事業

感染症拡大の中、私立保育所
や学童保育所などに町独自の
補助金を交付

150万円



西大路学区学童保育所 わたムッキー

感染症緊急 衛生対策事業

感染症対応医療機関等に検査
機器の購入補助、受検費用
の一部補助

629万円

予防接種 事業

65歳以上および妊婦等を
対象にインフルエンザ予防
接種の自己負担金を軽減

1,186.7万円



日野記念病院の発熱外来

グリム冒険の森 管理運営事業

感染症拡大防止の休業要請に
協力いただいた指定管理者
への支援

180万円

消防団 運営事業

鎌掛詰所の新築工事の
増額補正

1,468.1万円



現在の鎌掛詰所

小学校 管理運営事業

西大路小学校・南比都佐
小学校のトイレ改修工事

7,924.8万円

小学校・中学校 教育振興事業

授業支援ソフト・モバイル
ルーター、タブレットドリルなど

**小学校840.1万円
中学校374.1万円**

文化振興事業

わたむきホール虹の大規模
耐震改修
(令和2~3年度にかけて実施)

(令和2年度分)
9,864.5万円

ここに注目！委員会の報告

毎回白熱の議論が交わされる委員会の中から、特に注目の報告をピックアップ！

総務常任委員会

- わたむきホール虹の指定管理者の指定（R3/4/1-R8/3/31の5年間）
 - ・現在の指定管理者と同じ一般財団法人日野町文化振興事業団
 - ・指定管理料は、年間9,200万8千円、5年間で4億6,004万円
 - *コロナ感染の影響でホール使用料収入が激減し、不安が残る。
- 議会議員および町長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定
 - ・公職選挙法改正に伴い、町としての公費負担限度額を制定するもの。供託金制度導入15万円
 - ・選挙運動用自動車使用代、自動車運転代、燃料代、選挙運動用ビラ・ポスター作成代の上限額を定める
 - *選挙における立候補者を負担軽減し、立候補者のなり手不足を解消するための一助となるように。



(町民会館わたむきホール虹)

産業建設常任委員会

- 滋賀農業公園の指定管理者の指定（R3/4/1-R8/3/31の5年間）
 - ・現在の指定管理者と同じ株式会社ワールドインテック
 - ・指定管理料は、0円
 - *農業施設14か所の施設管理であり、指定管理に今後老朽化の課題あり。
- 日野町林業センターの指定管理者の指定（R3/4/1-R8/3/31の5年間）
 - ・現在の指定管理者と同じ滋賀中央森林組合
 - ・指定管理料は、年間259万3千円、5年間で1,296万5千円
 - *指定管理が貸館業務で終わらないように林業振興に努めてもらいたい。



(滋賀農業公園ブルーメの丘)



(日野町林業センター)

厚生常任委員会

- 日野町勤労福祉会館の指定管理者の指定（R3/4/1-R8/3/31の5年間）
 - ・現在の指定管理者と同じ社会福祉法人日野町社会福祉協議会
 - ・指定管理料は、年間302万3千円、5年間で1,511万5千円
 - *会館使用が年々減少、施設の老朽化と館内に雨漏り、照明が暗いなどの課題がある。



(日野町勤労福祉会館)

予算特別委員会

- 文化振興事業 9,864万5千円 わたむきホール虹大・小ホール、玄関ロビーの特定天井の耐震改修工事
 - *工期は、R3年6月～R4年2月までの9ヶ月の予定で、館内工事により一部開館使用が制限される。

地方創生特別委員会

- 西大路地区定住地整備事業で宅地造成工事を10月から開始。R3年3月26日竣工予定。
 - *R3年10月から分譲開始（申込受付）予定。

議会改革特別委員会

- 日野町議会業務継続計画（BCP）の概要案を提案
 - ・再審議を行い、3月議会に案として審議のうえ、3月末に提言する予定
 - *ウイルス感染の議会BCPを含めたものにしていくことが必要である。
- 日野町議会タブレット導入に向けたスケジュール案を提案
 - ・タブレット導入に賛否あり、検討は進めるものの、執行側とも慎重な審議を重ねる必要がある
 - *全会一致を原則とすることを確認。



(工事中の西大路地区定住地)

本会議と同じく、全ての委員会が傍聴できます。傍聴席からは、各議員の活発な議論をご覧いただけます。

令和2年12月 町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名		質問内容	
1	山田 人志	1. 将来世代への責任 ①公共施設総合管理計画について ②第2次水道ビジョンについて	P.10
2	西澤 正治	1. 第3波到来。コロナ禍での住民生活は	P.11
3	奥平 英雄	1. 近江バス日八線の路線変更はどうか？	P.12
4	高橋 源三郎	1. 桜谷こども園園庭内の通路整備について 2. 新型コロナ PCR 検査の実施体制について	P.13
5	山本 秀喜	1. 新型コロナ、医療機関への支援と診療体制は 2. 「三方よし！近江日野田舎体験」はどうか 3. 中野城趾、音羽城趾の整備を進め憩いの場に	P.14
6	齋藤 光弘	1. 副町長の任期は4年・・・？ 2. 第6次総合計画・次期総合戦略の策定状況は 3. 介護職員の人手不足、人材育成確保を	P.15
7	谷 成隆	1. 町の観光振興の今後は	P.16
8	中西 佳子	1. 「祖父母手帳」の作成発行を！ 2. 虐待のない社会について	P.17
9	池元 法子	1. 9月議会以後の国保税の進捗状況 2. 心配な種苗法改正 3. ふるさと納税の問題点	P.18
10	野矢 貴之	1. SDGs を活用した循環型の地域経済成長 「日野モデル」を実現せよ！	P.19
11	後藤 勇樹	1. 日野の宝、文化財の保護管理を問う 2. 不可解な点が多い、いせの調整池の経緯と今後は問う	P.20
12	加藤 和幸	1. 休日出勤のデータ削除問題について 問題のとらえ方と、教委の果たすべき役割を考える	P.21

本会議の様様をインターネットで配信しています。

(ライブ中継・録画中継)

右のQRコードを読み取ると一般質問の録画が視聴できます。



日野町議会インターネット中継

検索



将来世代への責任

- ① 公共施設総合管理計画について
- ② 第2次水道ビジョンについて

山田 人志 議員

公共施設総合管理計画について

今年初めて議会の決算審査に提出された複式簿記の決算書によって、町財政の全体像が見えるようになり、あらためて公共施設の老朽化の問題が浮き彫りになりました。

町では4年前に公共施設等総合管理計画を取りまとめ、老朽化への対策方針を定めているので、その計画内容について一問一答で質問しました。

問 計画では、長寿命化することで、大規模改修で10年、建替えで20年先送りできるとしているが、なぜなのか。

答 また、個別計算を積み上げたように思えないが、実際はどうなのか。

答 日本建築学会の考え方に基き建替え時期を先送りしている。先送りの年数は、大きくくりの基準である。

問 公共建物のなかでも、子どものための施設の更新が最も大きな問題ではないか。

答 学校施設や子育て支援施設は公共建物の半分を占め、そのほとんどが築30年を経過している、公共建物の維持管理上の課題と思っている。

問 先送りするだけの計画ではなく、子どものための施設の建替えが問題なら、その需要を維持するために少子化・定住対策に全力を注ぐ時間をつくる目的で先送りを考えるべきではないか。

答 また、建物の選択と集中に係る判断と合意形成も今の世代の責任ではないのか。

問 子どもの就学・就園規模を見て大規模改修や建替え方針を定めていく必要がある。

答 同時に、持続可能なまちづくりという意味で、少子化対策や定住対策に取り組むことが重要と考える。

第2次水道ビジョンについて

水道施設は生活インフラなので、建物のように選択と集

中という訳にはいきません。

町では、老朽化が進む施設の計画的な更新のためにアセットマネジメントを行い、その結果を第2次水道ビジョンに反映しました。

問 そこで、水道施設の更新の考え方について一問一答で聞きました。

答 今後の水道施設の更新費用を5年間で15億円前後（年約3億円）に平準化すると試算しているが、資金捻出をどのように見込んでいるのか。

問 計画に沿って更新を進めると毎年9千万円程度の資金が減少する。企業債借入れなどで資金の減少を抑えたい。

答 現在の資金残高を使っても7、8年で資金が尽きる。その後の財源はどう考えているのか。

問 企業債借入れの増額などで、資金確保に努めたい。

答 将来の更新費用や企業債

償還などを考えると、水道料金の引き下げは難しい。

それ以上にまちの魅力を高めることが大事で、少子化・定住対策と合わせて総合戦略の目標値に設定してはどうか。

問 持続可能なまちを目指すためにも、次世代に責任を持つ業績目標は大切だと思う。

答 今の世代と将来世代の責任バランスについて町長の所信を聞きたい。

問 先人が課題を乗り越え積み上げた資源・資産を将来世代に引き継げるよう、持続可能性に本気で取り組みたい。

議員のコメント

町長は、今の町政リーダーであるとともに次世代の代表でもあるので、問題を先送りする考えはなさそうです。

そうであるなら、周りの関係者も問題にしっかり向き合い、今の世代の役割と責任を果たさなければなりません。

第3波到来。コロナ禍での住民生活は



西澤 正治 議員

今後の地域生活は

問 令和2年12月9日には全国で1日に3千名近くの感染者が確認され、日野町内でも9名（当時）の感染者が確認されています。

令和2年1月16日、日本で初の感染者が確認されて以来、同11月12日にはコロナウイルス第3波と報道され、新型コロナウイルスが爆発的に感染拡大を続けている中で令和2年を終えました。

年度初めの字内での役員の引継ぎ、祭事、納涼祭等は中止や縮小となり、住民同士の交流や触れあいも難しくなりました。現状ではどうにもならない事ではありますが、今後感染に十分気を付けて地域内の交流の場を作っていくたいと思います。

新型コロナウイルスを念頭に置いた上で、今後の住民生活について、安全・安心な方法、事案をお伺いします。



席間に仕切り板の設置や席数制限などでコロナ対策をされる飲食店さん

答（町長 商工観光課 長寿福祉課）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、行事、会合が中止や縮小、地域のつながりの変化や地域経済への影響など、社会のあり様を一変させました。コロナを正しく恐れ、感染に気を付けて地域で支え合い、住民の皆さんが安心して暮らせるように地域づくりを進めることが必要です。

具体的には先日の区長さん宛の発送文書で組回覧をお願いし



令和2年は日野祭も戦後初の居祭となりました。例年の賑やかさが戻る日を待ち望みます（写真は大量の人出で賑わう令和元年の日野祭）

議員のコメント

新型コロナウイルス感染症は大はなかなか収束する心配がありません。一日も早くワクチン接種が行えるよう願っています。

今年は五輪・パラリンピックも開催されます。コロナウイルスが収束して安全・安心な生活が送れる日が来ることを待ち望みます。

ている「コロナとの付き合い方 滋賀プラン」を参考に、改めてマスク着用や手洗い、手指消毒、検温などの基本的な対策の徹底を図ると共に、活動ごとに人と人の距離（ソーシャルディスタンス）を取る事や、大きな声を出さないようにするなど、地域の皆さんお一人お一人がコロナ対策に留意し、時代の変化に対応した新たな形での活動をお願い致します。

近江バス日八線の路線変更は どうなるのか？



奥平 英雄 議員

近江バス日八線の 路線変更を待つて

問 近江バスの日野近江八幡線は住民の方にとって大切な生活路線であります。二年ほど前、近江鉄道から町に路線変更の話があったと聞きました。沢田石油さんを左折し国道477号に向かい河原、村井、西大路への路線変更になるということで、住民の方から心配の声を聴いています。近江鉄道の新しく運転手となられた方から運転が怖い、道路が狭い、また運転手の人材不足等の問題が出ています。町から近江鉄道にバス路線の大切さと、路線変更を行うのを待っていただきたいと伝えていただき、何とか来年4月からの変更は避けられたように聞きました。

答 近江鉄道バス日八線の路線変更については、近江鉄道バスの運転手不足による、熟練した技術の不足や、乗用車の運転マナーなどの影響により、道路幅の狭い路線での運行が厳しい状況にあります。このことから、近江鉄道株式会社より、路線の変更についてのお話を伺っていましたが、現在の路線は、通学や通勤の方を始め大事な生活路線であることから、町としては路線変更を進めることを慰留し



てきました。また、近江鉄道株式会社に対し、現在の路線の重要性についてもお伝えしてきました。

一方で広報等により住民のみなさんの交通ルールのマナーアップについての啓発に努めてきました。現在のところ、路線変更の具体的な時期等については未定です。

今後の町の取り組みとしては、新年度に向けて、日野町内における公共交通の在り方の検討を準備し、令和3年度から、住民みんなが利用し、みんなが支える持続可能な地域の公共交通



地域に無くてはならない公共交通

通を研究してまいりたいと考えています。



大窪地先の町中を走る近江バス

議員のコメント

路線変更の具体的な時期は未定ということであり、町も町営バスの路線変更も考える必要があると思います。また、車はもちろん自転車の交通ルールのマナーもアップしていただきたいと思っています。様々な問題がありますが、住民のみなさんと町と協力しながら生活のしやすい日野町にしていきたいと思

桜谷こども園園庭内の通路整備について
 新型コロナPCR検査の実施体制について



高橋 源三郎 議員

桜谷こども園園庭内の通路整備について

問 桜谷こども園の定員は

第1園舎と第2園舎を合わせると120名になりますが、朝夕の園児の送迎時には駐車場が混み合うため、第1園舎を利用の園児の送迎には、園舎に隣接する西桜谷公民館の駐車場を利用するよう指導されています。そのため、駐車場から第1園舎の通用門までは送迎者の専用通路が整備されています。(左写真3枚)ところが、通用門を入った中は園庭になっており、地面は土のまま雨の日は水がついて歩くことが困難な日もあります(下写真1)。この問題について園長先生にお会いし尋ねたところ、園庭は全体が園児の遊び場



▲雨天の通用門の中の状態(写真1)

所なので、コンクリートなどの専用通路を設けると園児がかけっこをして転んだ時に怪我をする危険性があるので検討が必要とのことでした。

そこで私は、フェンス沿いと園舎沿いに「L字型」に通路を付ければ問題はないと考え、今回提案しますので、新年度予算でぜひ整備をお願いします。

答 保育や子どもの遊びでの園庭の利用を考えると、舗装等の対応が出来ず、雨天時には保護者に不便をかけています。当局としてもこども園の現状は把握しており、園とも相談して園庭に真砂土を投入するなど対応し

ているところです。今後も現場の声を聴きながら対応に努めて参ります。

新型コロナPCR検査の実施体制について

問 新型コロナウィルスの第3波が全国各地で猛威を振るっています

ですが、日野町は今のところ比較的少ないと考えられます。しかし油断は禁物です。テレビのニュース等で感染者数のグラフを見る限り、第3波は非常に大きいようです。また、感染していても無症状で熱が出ない人もいます。こうした人と接触していても警戒心がないのが実情です。それ故、医療機関でPCR検査を希望する人には全員受けられるよう検査体制の充実が必要だと思えます。

実は、こうした要望に答えるべく、最近の新聞に「コロナ感染全自動で測定」の記事が載りました。即ち、新型コロナウィルス感染の有無を全自動で測定するPCR検査装置を開発し発

売したとのニュースです。そして、検査にかかる手順を簡略化したためクリニックや中小規模の医療機関でも導入し易いよう価格を低く抑えたと開発した会社は説明しています。

日野町でも医療機関への補助や保健センターへの導入を検討する必要があると思いますが、我が町の考えを伺います。

答 滋賀県において検査体制の整備が図られており、PCR検査センターは東近江圏域では2か所設置されている。しかし、検査を希望しても主治医の許可がなければ検査は受けられません。

この12月補正において検査体制の充実を努め「感染症対策補助事業」として予算を提案させて頂いているところです。

議員コメント

新型コロナのPCR検査の実施については、主治医の許可がなくても、希望者には全員いつでも受けられるよう、行政主導で早急に体制を整えていただきたい。

新型コロナ、医療機関への支援と診療体制は

「三方よし!近江日野田舎体験」はこうなる

中野城趾、音羽城趾の整備を進め憩いの場に



山本 秀喜 議員

新型コロナ感染症・医療機関への支援と日野町の診療体制は

問 発熱など風邪のような症状が現われた場合、従来は「帰国者・接触者相談センター」に電話していくこととしていましたが、11月1日から「最寄りの医療機関」に電話連絡するに改められました。

答 この方針転換に対して、医療機関に大きな負担が強いられないか心配しており、町はどのような支援と体制を構築しているのか質問しました。

答 各医療機関従事者への負担は、さらに大きくなっているものと思われま。診察・検査医療機関に対しては、安全に診察や検査が行えるよう、県よりゾーニング等に必要な施設整備への補助が行われるとともに、必要な保護具の配布が行われることになっています。

発熱等の症状がある方や新型コロナ感染症を疑う方が地域で急増し、診療所での診察に支障

が生じる恐れがあると判断された場合、町が設置した「発熱外来対応ハウス」（保健センター北側に設置済）で町内開業医のご協力を得て、専門的に診察していく体制を整えています。

「近江日野田舎体験」の今後の見通しは

問 教育旅行による農村生活体験民泊は、この新型コロナにより中止を余儀なくされ、再開の見通しも示せず残念に思っています。この事業により受入家庭では、交流を通して人と人との心の温かさを感じる良い機会であり、物品購入により少なからず地域循環を果たしてきたものです。やむを得ないとは言え、今後の見通しを伺いました。



再開が待ち遠しい田舎体験

答 これまで約3万2千人の子どもたちや外国の方々が来られました。今はお断りせざるを得ない状況です。ワクチン等の普及や地域の皆さんのご理解が得られる状況になれば、再開していきたいと考えています。

現在では受入家庭とのつながりを維持していくため、小規模な意見交換会や研修会を開催しています。また、当面民泊は無理でもこれまでの経験を活かした体験だけでも受入れできないか、検討を進めています。

中野城趾、音羽城趾の整備を進め、町内15ある城跡の保存と活用は

問 地域の皆さんや蒲生氏郷公顕彰会の皆さんから、「中野城趾を何とかしたい」「音羽城趾をもっと美しくしたい」とする思いと清掃活動を通じて、改めて保存・整備の必要性を痛感しました。また、町内にくつもある城跡の活用と地域との連携を深めた取り組みが必要と、町の考え、支援について質問しました。

答 町内には多くの城跡があり、地域の方々の熱い思いの中で、保全活動に取り組んでいただいていることは、大変有難いことだと思っています。町として取り組めることや必要な支援策について議論させていただければと考えています。

城跡を活用した連携については、企画展や見学会を通じて、城跡の紹介に努めています。



12/13音羽城趾探訪開催される

議員のコメント

新型コロナの処方箋、ワクチンのニュースが聞こえるようになりましたが、未だ未だ終息には時間がかかるようです。医療、介護、福祉、保育に係る従事者の方々のご負担を少しでも軽減できればと考えています。

副町長の任期は4年・・・？

第6次総合計画・次期総合戦略の策定状況は

介護職員の人手不足、人材育成確保を



齋藤 光弘 議員

副町長任期は4年と訂正

津田副町長に就任の基本姿勢をお聞きし、堀江町長に副町長の任期について、地方自治法163条で4年と定まっているところ9月議会承認時は2年半と報道されていることから真実はどうなのか、一問一答で質問しました。

問 津田副町長の基本姿勢は。

副町長 明るく楽しく前向きなモットーに、日野町の将来に向けて全身全霊で頑張り、与えられた期間、精一杯日野町のために力を尽くす所存です。

問 副町長任期の真実は。

町長 新日野新聞の報道、令和会報の記事は、過去に2年半とされた方がいたからではないか。

問 フェースブックは2年半と掲載されているがどうか。

町長 任期記載の根拠は、他市町の状況、人事が切り替わる時期を考慮してのことであります。私の誤った記載であったので、訂正させていただきたい。県との取り決めはありません。

第6次総合計画・次期総合戦略の策定の進捗は

問 総合戦略の施策検証結果では、どのように評価検証されているのか。

企画振興課 今後は、時代の変化を敏感に捉え、その荒波を乗り越える柔軟な施策を展開することが必要。役場の取り組みと住民の取り組みの協力関係の深化を求め、より一層の行政と住民の協働による施策の工夫をするよう、検証をまとめていきます。

問 第5次総合計画をどのように評価検証されているか。

企画振興課 52施策を内部評価し、課題を抽出した上で、今後どのような施策や取り組みを実施すべきかを議論し、第6次の計画策定に取り組んでいます。

問 第6次総合計画策定の今後の計画は。

企画振興課 令和元年11月から12回にわたり総合計画懇話会の開催を経て12月18日に町長に提言書を提出し、年内には案を作成して、1月下旬にはパブリックコメントを実施、3月議会で承認をいただく予定です。

クコメントを実施、3月議会で承認をいただく予定です。

問 町長としての第6次総合計画・次期総合戦略への決意は。

町長 10年後の日野町が、安心安全で住み心地の良さが維持され、町の魅力が一段と高められた町、恵まれた町の特徴を活かし多様な人材が活躍できる町、日野町に関わる全ての人が、つながり、ともに持続可能な活力あるまちを目指したい。

介護職員人手不足対策を

介護職員の処遇改善、人材育成支援、コロナ禍における介護体制の拡充を願い一問一答で質問しました。

問 人材育成支援はどうか。

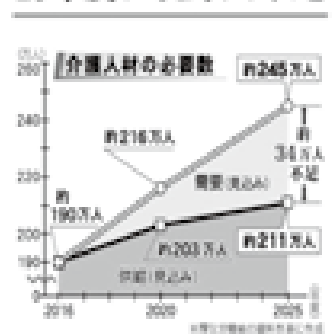
長寿福祉課 介護職員初任者研修の研修終了者に対する補助金交付や研修終了後に町内事業所に就労された方に対する奨励金等支援している。

問 介護報酬の処遇改善は。

長寿福祉課 「特定処遇改善加算」など、国が賃金改善を図っている。

問 国県への対策要請は。

25年度に34万人不足



長寿福祉課 町村会を通じ、国の財政負担を高めるなどの見直しを県に要望している。

問 町長の見解を伺う。

町長 国や県、町がそれぞれの役割を果たして、連携することできっちり取り組んでまいりたいと考えています。

議員のコメント

当初、任期2年半とした真相は明確にされませんでした。いずれ2年半後、分かることでしょう。今後も注視していきたいと思っています。

2025問題を間近に控え、介護保険制度の拡充には、介護職員不足は深刻な緊急の課題です。国県への介護の処遇改善とともに、町の人材育成支援対策を要請しました。

町の観光振興の今後は



谷 成隆 議員

町の観光振興の今後は

問 駅前地域にて日野駅再生プロジェクト完了イベントを実施し、日野菜の新キャラクター「あのなひのな」や日野青少年女合唱団による「あのなひのな」の歌が披露目され大変盛り上がりしました。

駅前通り共栄会では、今まで駅や鉄道を利用した様々なイベントを企画する中で、特産品の日野菜や観光の振興を行っておりますが、町として今後の展開をお伺いします。

①日野菜振興の状況は。②マスコミキャラクター

日野駅前通り共栄会の取り組み

- ▼平成 11 年：近江鉄道(株)の協力で「ねるとん近江鉄道」を開催（商店街発足 50 周年事業）
- ▼平成 15 年：日野菜フリーズドライ商品を開発
- ▼平成 17 年：「近江日野原産ふるさと茶漬けひの菜ちゃん」を販売
- ▼平成 21 年：近江鉄道電気機関車を日野駅に留め置き、無料貸し出し本棚を設置（商店街発足 60 周年事業）
- ▼平成 28 年 4 月：「日野駅利用促進活性化懇話会」を設置、5 月「ホイノボリ」を日野駅構内に設置、7 月「日野駅せんべい」を作成、12 月(株)まちおこし/藤井組企画で「日野菜収穫祭」
- ▼平成 29 年：駅舎本体完成、「こうけん舎」が発足
- ▼令和 3 年 2 月：「ひの菜ちゃん」のノウハウを移譲した新しい日野菜茶漬け開発

「あのなひのな」の取り扱いについて町の考えは。

③日野ひなまつり紀行など町の各種イベント開催との連携について町の考えは。

④先月、自転車による滋賀の観光をかねた「ピワイチ」のよな「ピワイチ」を津田副町長を先頭に実施されたが、日野町を再発見！どうでしたか。

答 ①令和 2 年度の作付面積は 7.5 ha。（目標作付面積は 10 ha）。新規生産者の方もおられ栽培技術向上のため、JA職員、県の普及指導員が定期的に圃場

巡回し作業等の具体的な指導や栽培技術研修会を開催しています。「原種日野菜」の歴史と伝統、品質の良さなどをPRし、付加価値を高めた販売を目指し、県内大手スーパーや東京日本橋の滋賀県アンテナショップ「ここ滋賀」での販売に加え、11月からは三方よし近江日野ふるさと応援寄附の返礼品としても採り入れ、全国的なPRと販路拡大を図っています。

②愛着があり可愛らしく仕上がりが今後、地域の方やJA等と連携し、あらゆる場面で「あのなひのな」と共に日野菜振興をはじめ、町おこし等、PRに活用してまいります。

③感染症の影響により、各種イベントも県のガイドラインを遵守し、元気に開催いただける事を期待しています。2月7日開催の日野駅前通り共栄会GOTO商店街と日野ひなまつり紀行とが連携いただけることを期待し、地域や経済活動等が元気になる事を願っています。

④11月23日に実施しました。コースや行程は津田副町長が自

ら何度も町内を自転車で行り、外から見た視点でプロデュースしました。参加者全員で町内の見どころや良さをあらゆる角度から再確認でき、町内外への情報発信につなげてまいります。と考えています。



お披露目された「あのなひのな」

議員のコメント

日野菜関係は農林課、観光案内関係は商工観光課、鉄道関係は企画振興課と担当課の取り扱いが違いますが、事業を行う中で連携が取れていません。日野町特産品や観光や「あのなひのな」の取り扱いを心配する事から観光振興の一つ専門の課を作るべきです。

「祖父母手帳」の作成発行を！ 虐待のない社会について



中西 佳子 議員

「祖父母手帳」作成発行

問 父母世代にとって身近な祖父母は、子育ての支援者になっていただいている。祖父母世代が育児をしていた頃に比べ、今は育児方法が変化している。世代間のギャップを埋めて、相互のコミュニケーションが円滑になるようお願い何う。

① 祖父母世代に向けた子育て学習や世代間交流等の取り組み状況は。

② 「祖父母手帳」の作成発行について町の所見を何う。

答 ① 幼稚園・保育園・こども園において、祖父母学級を開催している。園によって違うが、餅つきをしたり、子どもとのふれあいの後、子育ての講演を聞いていただいている所もある。運動会や発表会にも多くの祖父母に来ていただいている。また、各公民館や保健センターにおいても、世代間の交流事業を実施している。

② 「祖父母手帳」については、他の自治体の事例を見ますと、祖父母が子育てをすることにによる孫、親、祖父母、家族のメリットや祖父母と親の上手な付き合い方、昔と今の子育ての違い、孫との具体的な遊び、祖父母が期待されることなどが分かりやすく書かれている。今後、世代間の意識の違いを埋める事業を開催するとともに、親世代が思う祖父母世代のサポートについても聞きながら、先進地事例についても調査・研究したい。

虐待のない社会について

問 全国の児童相談所が対応した虐待件数は、毎年最多を更新し続けています。日野町に於いても毎年増加しており、本年度も既に増加して



ます。本年4月に施行された児童福祉法等改正法では、「体罰の禁止」が明記されました。虐待のない社会を願う何点か何う。

① 児童虐待防止への町の取り組みは。

② 子育てや生活上の悩み事の相談体制は。

③ 虐待を早期に対応できる仕組みとなっているか。

④ 様々な事情で家族と暮らせない子どもたちを支えている里親制度は。

答 ① 各種啓発活動を実施するとともに、学校・園を始めとする各機関の連携に努めている。複合的な課題を抱える家族が多く存在している状況ですが、職員の専門性を高めるなどに努めている。全職員を対象に虐待の研修を実施し、意識啓発に努めている。

② 各保育園・幼稚園・こども園・学校・子育て教育センターでは常に保護者からの相談に応じ、寄り添うよう努めている。保健

センターや「ぼけっと」でも相談に応じている。相談があった場合は、各機関が情報共有し連携して対応している。

③ 各園では子どもの着替え等を通じて^{あき}疲が無いかなど常に意識している。保健センターでは、定期的な健診を通じて、子どもの状況や親の対応など気になる親子を早期に確認し、支援につなげている。

④ 里親制度は、子どもにとって、家庭的環境を経験できる大変重要なものと考えている。昨年度は日野で滋賀県の里親大会が開催され、里親制度の重要性等、共通認識を図った。今後重要性を認識し募集、啓発に努めていきたい。

議員のコメント

「祖父母手帳」は親世代、祖父母世代に共有出来るものである。検討を願います。子育てや生活に疲れた時、少し休める時間、場所がある優しい町でありたいと思います。

9月議会以後の国保税の進捗状況

心配な種苗法改正

ふるさと納税の問題点



池元 法子 議員

問 国保税の第2期運営方針策定に向けて、9月の質問以降の進捗状況と経過、わが町の次年度の保険税について伺う。

引き下げも視野に入りたい

答 来年度の仮算定は今年度の本算定と比較すると、9%弱のマイナスとなる結果。

来年度の日野町の国保税については、1月に出される本算定結果を受け、国保財調基金残高を見据えながら、引き下げることとも視野に入れ、検討したい。

農業を基幹産業とする町の町長としてどう考えるか

問 12月2日、「種苗法一部改正法」が国会会で可決成立。

元来、農家は農作物を販売する時、一部をタネとして残し、翌年の栽培に使う「自家増殖」をしてきたが、この改正がされると、登録品種を栽

培するためには種苗をすべて購入するか、育苗権者の許諾（有料）を得ないと栽培できなくなる。

これは農家に大きな経済的負担をかけ、経営を圧迫し、また我が町の農業振興に大きな打撃を与えるものだ。

農業を基幹産業としている町の町長として、この問題をどうとらえておられるか伺う。

答 改正種苗法は、優良な品種を保護し、新品種の開発を促進する制度。

自家増殖が禁止され農業者の負担が増えるという心配は、一般品種では利用条件はなく、法改正により流出防止の観点から許諾契約が見直されても生産者への影響は少ない。

「ふるさと納税」の本質は

問 堀江町長は選挙で、「ふるさと納税」を財源確保の一番の手段と主張されていた。

本来、自分のふるさとに恩返しをしたい思いでするもの。

しかし、現実には自分の故郷に限らずカタログショッピング化している。

行政施策を支える貴重な財源を自治体間で奪い合うことは、地方税の本来の趣旨に反するもの、こうした「ふるさと納税」の本質についての考えは。

来年度予算で寄付金の額、返礼品の額、必要経費をどの程度見込んでいるのか、また、町外への寄付による減収をどの程度見込んでいるのか。

答 結果として財源を活用したい。自治体間で奪い合うことの歪みがあることは承知するが、市民権を得た制度であることからメリットを大きく生かしていきたい。

本旨から逸脱した返礼品競争については、ルール化されたことから、今日までの当町での取り組みとともに、特産品を中心とした返礼品を活用して

町をPRしていく。

予算は過去5年間の実績を踏まえ、3000万円程度、返礼品約3割を含め、約5割の必要経費を見込む。

町外に流出する税収の見込みは、この2年間の実績に基づき分析したい。

議員のコメント

○日野町の国保担当課長はじめ前町政からの日野町民を守る立場で取り組んでおられるので、大変心強い思いだが、今後の県の動きに注視していかなければならないのは確かだ。

○答弁は全く農水省の答弁と同じ。優良な米、原種日野菜を栽培している日野町の農家を守る立場で考えていただきたい。

○自治体間に勝ち組み・負け組ができる。所得の高い人が優遇される制度。地方自治体の財源確保は、地方財政対策の拡充こそ大切であるので、国に対してもしっかりものを言い、真の地方財源の確保に努力すべき。

SDGs を活用した循環型の地域経済成長「日野モデル」を実現せよ!



※わかりやすいように、できるだけ簡単な表現に編集しています。

野矢 貴之 議員

ペットボトル削減へ排出量推移を公開!?

問 日野町行政にとって環境問題とは?

住民課 環境問題の要因の多くは人為的なものであり、地方行政は環境保全を積極的に取り組む役割を担っている。

問 ゴミの分別をすることで、再生資源にしやすい。しかし、ペットボトルはリサイクルとして収集しても、大半が燃料、一部は劣化プラ製品となり、再生資源とは言えない現状だ。結果、消費になっってしまうため、環境負荷を考えると、「分別」より「削減」を大きく掲げるべきではないか?

住民課 大量生産・消費の暮らしの中で、無駄にゴミにしまいがちなので、使う量をよく考えて消費して欲しい。

問 今後、ペットボトル排出量の推移をホームページに表示するなど、住民にわかりやすくできないか?

住民課 中部清掃組合で計測しているので推移はわかる。掲載も検討していきたい。

問 ペットボトル削減をゴミ問題としてだけでなく、給茶給水スポットなどとして地域商店に誘客するような施策として実施できないものか?

副町長 ビワイチスポットのように、日野町でも非常に有効だと思っているので検討したい。

産学官民がつながれる課題解決の仕組みを!

問 「地方創生SDGs」は日野町の計画にも影響を?

企画振興課 次期総合計画・総合戦略では持続可能性・多様性・共創が大きな柱となっている。

問 日野町が持続的な活動を実施し、社会・環境・経済の三側面を統合的に発展できるとすれば、大きな価値があるのではないか?

総務政策主監 SDGs は非常にわかりやすい。課題解決のために、理想の未来から今やるべきことを考えることが大切だ。あらゆるものがつながっていると考え、多くの組織につながりを持っていただくとともに、プラットフォームみたいなものも検討していきたい。

問 あらゆる組織と活動がつながる、産学官民プラットフォームをつくるには、今が絶好のチャンスではないか?

町長 これからは行政だけの力で課題を解決できるような時代ではない。町内外多くの方を巻き込んでいくスキームをいかにつくるかがテーマである。提案内容も参考にし、金銭的な部分も含めて枠組みをつくっていきたい。

野矢貴之のココがポイント!



産学官民連携プラットフォームイメージ

SDGs という共通の指標を活用すれば、あらゆる組織や団体が協働することが可能になる。

① 市民団体・組織・企業の資源や取り組みや計画をデータベースにする

② 課題が見える化&共有されることで、誰もが取り組みやすくなる (市民参画)

③ 行政提案型協働事業&マッチングを実施することで、課題解決の促進と社会的事業の支援をおこなう

④ SDGs を活用した循環型の地域経済成長の実現!

あらゆる方面から賛同を得やすいSDGs。実施主体は住民、推進は行政が理想だ。後にも先にも、今が絶好機である。



藤樹 勇 議員

文化財の保護管理を問う

問 古文書等を保管する近江日野商人ふるさと館の書庫は収容量が限界です。今後他の文化財や曳山などと共に保管、修復、展示ができ、日野祭囃子の演奏なども行える施設を設置できれば、観光振興にもつながると思います。また国の重文である松尾の正明寺本堂の檜皮葺大屋根は前回の葺き替えから35年経過し、傷みも激しく

なっています。国や県に補助を強く求め、所有者と協力して一日も早く葺き替えに着手してください。

これら文化財に精通した町の担当職員は、現在2名のみですがいずれも一般職であり、他業務と兼務の状態です。貴重な人材の流出を防ぐためにもぜひ専任職とし、後進の育成にも力を注いでください。

【答弁】(町長 教育長 生涯学習課)

新たな書庫については現在検討中です。施設建設や維持には財政的な問題もありますが、日野町全域にわたるエココミュニティの発想も踏まえ、町民のご協力もお願いしながら、来年度から文化財保存活用地域計画を準備し、再来年度に策定する予定です。正明寺本堂は、前回は昭和60年に国85%、県5%、町5%、所有者5%の比率で葺き替えをしており、現在、早急な対応を県に要請しているところです。また、歴史文化財等専門的な職員については町の採用

計画の中で十分考えていく必要があると思っています。



河村若芝作の十八羅漢図(正明寺所蔵)を視察する堀江町長

不可解な点が多い、いせの調整池

問 いせの地先の調整池取得にあたっては平成18年12月議会で当時の建設計画課長より大窪・岡本町営住宅建設代替用地として町営住宅建設整備基金から約7千万円を拠出した点の説明があり、町は翌19年2月に土地区画整理組合と売買契約を締結し、保留地として購入していますが、現在は調整池扱いとなっています。現在、当該地付近は令

和8年度から雨水排水事業の着手が予定されており、それが完成するまでは調整池を維持する必要がありますし、その後この地域の水を下流に流す場合は下流地域の同意が必要です。この土地の購入価格は鑑定士に伺った評価額や税務課長の見解よりはるかに高い点、平成30年3月議会における私の質問に対し、現在町には新たな町営住宅建設計画は無いと明言されているにも関わらず、本来の用途以外に流用できないと条例で定められている町営住宅建設整備基金を約7千万円も投入しておきながら、今後も含めて塩漬けにし続ける点など、不可解な点が多々あります。これらの問題についての当局の見解と今後の予定、当時の町トップを含め責任の所在を伺います。

【答弁】(建設計画課長)

いせの調整池については、当時計画されていた雨水排水事業

が遅延したため、それが完了するまでの暫定調整池として設置しました。将来雨水排水事業が完了すると調整池が不要となり、その時点で更地とする予定ですが、町営住宅建設整備基金を財源として購入した土地なので、別の用途に使用するために条例の改正が必要になり、それまでは塩漬けと言われる通りです。このような状況にあることや、購入価格の点について責任がどこにあるかと言われましても、町にも責任はあると思いますが、当時の町トップの責任はお答えしにくいところです。

議員のコメント

文化財は一度失われると取り返しがつきません。町民みんなの財産という認識を共有し、保護・管理していくことが大切です。不可解な経緯が多い「いせの調整池」は今後も継続して調査し、その進捗を町民に随時公表する必要があると思います。

休日出勤のデータ削除問題について 問題のとらえ方と、教委の果たすべき役割を考える



加藤 和幸 議員

問 11月5日付中日新聞はじめ各紙が、町教委の担当者が教員の「在校等時間」に休日出勤の報告データを削除して提出するよう各校あての文書管理システムに掲載したと報じた。

問題の本質は何か

①なぜこのような指示が出されたのか。
②「働き方改革関連法」では時間外労働の上限を月45時間を原則と定め、教育現場でも今年4月からこの上限を目標として掲げている。県教委などは「趣旨に反する」と指摘しているがどう考えるか。
③教委は、教育長らを減給や文書訓告に処するとしたが、校長会の責任はないのか。

答 ①統計資料として整合性を図りたいという思いからであったが、制度の理解が十分でなかった。
②不適切な指導であったと深く反省している。

③ 学校長に対しては、問題の所在を明らかにするとともに、働き方改革に一層取り組み、校長としての職責を果たすよう、訓示をした。

現場の実態と根本的な背景

問 ①この間、小中学校教員の時間外の「在校等時間」および休日における勤務時間をどう報告したか。また、明らかになった勤務実態はどうか。加えて、「コロナ禍でない昨年度における実態はどうか。
②年次有給休暇の消化率を伺う。
③根本にあるのは、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」（「給特法」1971）だ。給特法では給料月額額の4%を「教職調整額」として一律に支給し、時間外手当ては支給しない、とした。クラブ活動、採点、保護者対応、等々の時間外勤務も法的にはすべて「自主的にやっている」。いくら超勤しても給料には関

係しないので、実態どおり報告して監督官庁や管理職に注意されるぐらいなら上限時間の枠の数字で報告となっているのではないか、見解を伺う。

答 ①今年上半年期の超勤は小学39時間（昨年47時間）、中学で55時間（昨年74時間）、（今年の報告は36時間）。②年休消化は小中とも9日（20日中）。
③時間超過など気にしないという考えは現場教職員に多い。しかし、一部の新聞報道にあったように、上限枠を意識して少なく見せようと指示したものではない。

教委の果たすべき役割

問 ①「コロナ禍を通して、少人数学級の良さが評価され、支援員や部活動指導員制度も現場で喜ばれている。今回の件を通して得られた教訓は、教委は校長や個々の教員から超過勤務の実態を正しく把握し、その解決のために少人数学級の実現や教職員の増員を

はかるよう国や県に要望し、真の解決をはかることが大切ということだ。健康管理をはかるには、制度の拡充が不可欠と考えるが見解を伺う。
②支援員制度の存続・拡充、町単独の加配、教職員増を要望する。

答 ①教職員が誇りや情熱を持ち続け、健康に働くことができよう働き方改革を進めることが重要。そのためには、教職員の増員や教職員が子どもと向き合う時間を確保するサポート体制の充実が必要だ。
②他町に先駆け配置した学習支援員は結果として地方創生交付金対象となり、充実した支援体制が整った。来年度以降は町村会等を通じ継続して県に要望していきたい。

議員のコメント

今回の教委の行為が、少人数学級の推進、長時間過密労働をなくす条件整備の前進に向かうステップとなることを願う。

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
条例の制定・一部改正（4議案）														
日野町の議会議員および長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（制定） 町議会議員選挙および町長選挙における選挙公営に関する規定を定める条例制定（選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラの作成および選挙運動用ポスターの作成にかかる公費負担について定めるもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
日野町職員の特殊勤務手当に関する条例（一部改正） 感染症予防等に従事する職員の特殊勤務手当の特例を定めるための改正（新型コロナウイルス感染症に係る作業に対する手当を特例として定めるもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
日野町国民健康保険税条例（一部改正） 地方税法施行令の一部を改正する政令の制定に伴う改正（軽減判定所得の算定における基礎控除額相当分の基準額等の見直しを行うもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
特別職の職員の給与等に関する条例（一部改正） 教育長の給料について、令和3年1月1日から1ヶ月間減額するための改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
補正予算（7議案） * 関連記事7ページ														
一般会計（第7号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
国民健康保険特別会計（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
農業集落排水事業特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
介護保険特別会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
後期高齢者医療特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
水道事業会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
下水道事業会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
決算の認定（9議案） * 関連記事6ページ														
令和元年度日野町一般会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和元年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和元年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和元年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和元年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和元年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和元年度日野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和元年度日野町西山財産区会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和元年度日野町水道事業会計決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／

※決議を行った「防災・減災、国土強靱化対策の推進を求める意見書」は、11月27日に議長名で衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣に提出しました。

提出された議案と結果

○賛成 ×反対

第6回臨時会（11月27日開催）

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
条例の一部改正（3議案）														
特別職の職員の給与等に関する条例 特別職の職員の給与について、人事院勧告等に準じた改正を行うための改正（期末手当の改定を行うもの）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町職員の給与に関する条例 町職員の給与について、人事院勧告等に準じた改正を行うための改正（期末手当の改定を行うもの）	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	/
日野町会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例 会計年度任用職員の給与について、期末手当に関する規定を改めるための改正（年度中における期末手当の支給割合を当該年度の4月1日における割合とする規定を定めるもの）	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	/

議員提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
意見書の決議（1件）														
防災・減災、国土強靱化対策の推進を求める意見書 ▽内容：国会・政府に対して令和3年度以降も引き続き、防災・減災、国土強靱化対策を強力に推進するため、地方財政措置と対象事業の拡充を求めるもの ▽提出者：後藤勇樹議会運営委員長	決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

第7回定例会（12月1日～23日開催）

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	杉浦
工事請負契約の変更（1議案）														
日野町防災情報伝達システム整備事業 ▽変更前の契約金額：124,454,000円 ▽変更後の契約金額：131,591,900円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
指定管理者の指定（4議案）														
日野町農業構造改善事業施設（滋賀農業公園） ▽指定管理者：(株)ワールドインテック ▽指定期間：5年間（令和3年4月1日～令和8年3月31日）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町林業センター ▽指定管理者：滋賀中央森林組合 ▽指定期間：5年間（令和3年4月1日～令和8年3月31日）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町勤労福祉会館 ▽指定管理者：社会福祉法人日野町社会福祉協議会 ▽指定期間：5年間（令和3年4月1日～令和8年3月31日）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町町民会館わたむきホール虹 ▽指定管理者：一般財団法人日野町文化振興事業団 ▽指定期間：5年間（令和3年4月1日～令和8年3月31日）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

*「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・e-mailまたは議会事務局までご持参願います。

蒲生郡町村議会議長会で国へ 要望活動 (11月24・25日)

蒲生郡町村議会議長会では、日野・竜王両町における課題や提案をまとめ、武田良太総務大臣、鳩山二郎国土交通大臣政務官、小鍬隆史厚生労働大臣政務官に要望書を提出し、面談を行いました。



武田総務大臣(写真中央)と面談を行う杉浦議長・谷副議長(総務省大臣室)

園田新選手令和2年度全日本レスリング 選手権大会優勝報告会 (12月28日)

男子グレコローマンスタイル130kg級にて7連覇を果たされ、優勝報告に来庁されました。春にカザフスタンで開催される東京五輪アジア予選へ向けて必勝の決意を語ってくださいました。



メダルをかけ、正副議長、町三役に優勝報告をされた園田新選手(写真中央)

議長コラム



議長 杉浦 和人

厳しさを増す コロナと財政

新型コロナウイルス感染症が日々拡大している都市部。地方にもその波は、じわじわと進行しています。住民皆様も一人ひとりが予防対策にご留意をいただき、「自らの命は自らで守る」ことに徹して下さいさるようお願いいたします。

また、この窮地にご尽力をいただいている医療関係従事者皆様に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

さて、議会も任期は折り返しの年になります。より一層住民皆様の立場に立って議員活動を推し進めて参ります。併せて議会改革と活性化には全議員の意見を尊重して取り組みます。事務の効率化を図るためタブレット導入も検討する一方、一般質問を政策資源として活用するために「議員一人のもの」から「議会のもの」にする「質問力を議会力」にして行きたいと思っています。

いよいよ新年度の予算編成となります。国の地方自治体への地方交付税は昨年の十六・六兆円から十七・四兆円と増額になりますが、コロナの関係で町内企業様の業績は極めて厳しく、法人税等の減収は避けられない状況であります。そうした中、住民要望は多種多様に増加しています。行政と議会が結束してこれに応えていかなければなりません。国や県の支援を力強く求めて参りますのでよろしくお願いいたします。

3月定例会のお知らせ【予定】

- 3月1日 本会議(開会・提案説明)
- 11日 本会議(質疑)
- 12日午後・15日 本会議(一般質問)
- 26日 本会議(採決・閉会)

編集後記

新年となりました。本誌を最後までお読みいただきありがとうございます。ございます。

新しい生活様式の中でも人との絆を忘れずにいたいものです。今年も、多くの皆さんとのふれあいの機会を持てるようにと思っています。本年も変わらぬご指導を宜しくお願いいたします。(中西 佳子)

議会広報特別委員会

- 委員長 後藤 勇樹 (P 4・5)
- 副委員長 加藤 和幸 (P 7)
- 委員 齋藤 光弘 (P 8)
- 委員 中西 佳子 (P24)
- 委員 高橋源三郎 (P 6)
- 委員 山本 秀喜 (P 2・3)
- 委員 野矢 貴之 (P 2・3)

*()は担当したページ